

# 公開プログラム

入場無料

とき 8月1日(日) 13:00 ~ 16:00

ところ 兵庫県中央労働センター

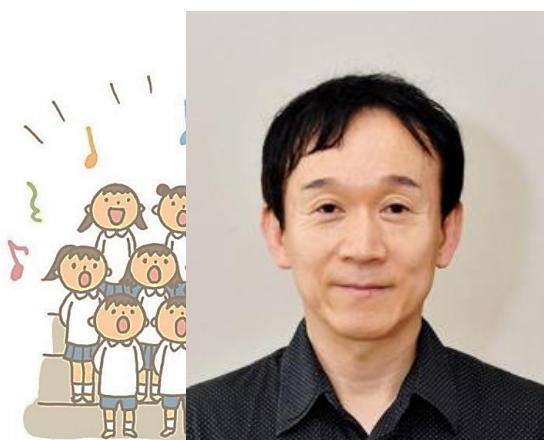
地下鉄「県庁前駅」下車、西3番出口徒歩約5分 JR「元町駅」、西出口を北西へ徒歩10分

講演 13:00 ~ 13:50

『しあわせ運べるように』

阪神・淡路大震災復興の復興の灯となり、  
神戸市の第2の市歌となった歌の物語

神戸親和女子大学 臼井真准教授



コンサート 14:00 ~ 14:45

シンガーソングライター まあのさん

まあの(mano)はエスペラント語で手のこと。  
楽器を奏でる、怒りに握り固める、仲間と取り合う手でもある。



エスペラント入門講座 15:00 ~ 16:00

---

## 第69回 関西エスペラント大会

大会テーマ：Esperanto post Katastrofoj 災害後の希望 地震そしてコロナ禍

主催：神戸エスペラント会・一般社団法人 関西エスペラント連盟

後援：神戸市、神戸市教育委員会、神戸新聞社、NHK 神戸放送局（申請中）

# しあわせ運べるように

1995年阪神大震災発生当時、神戸市内の小学校で音楽専科教諭を務めていた臼井真氏は、テレビニュースで変わり果てた三宮の姿を見て衝撃を受け、ふるさと神戸への思いを込め、わずか10分で「しあわせ運べるように」を作りました。清らかでやさしい子どもたちの歌声が、光のようにキラキラと降り注いで、被災地を照らし、包んでほしい、と。

「復興のシンボル曲」「希望の歌」として、神戸の子どもたちをはじめ、たくさんの方々に大切に歌い継がれています。2021年1月17日神戸市はこの歌を第二の市歌に指定しました。

東日本大震災(2011年)のあと、エスペラント普及会の田淵八州雄氏・平井淳氏によりエスペラントに翻訳され現地で慰めと連帯のため歌われました。

## コンサート

まあのさんの書き溜めた日本語の歌。

それと、エスペラント訳「しあわせ運べるように」をスーパーキッズオーケストラのDVD動画をバックに歌います。

## エスペラント 入門講座

エスペラントの基礎を楽しく学びましょう。アルファベットから簡単な文法まで。更に学習を進めたいと思われた方は神戸エスペラント会へお問い合わせください。<https://kobeesperanto.wordpress.com/>

## エスペラント(語) について

1887年、ポーランドのユダヤ人医師ザメンホフにより発表された言語です。「言葉の違いが民族間の対立を生む」と考えて作り出されました。その使用者は、世界120か国、およそ100万人いるといわれています。

